

特定非営利活動法人チーム杉劇

令和 5 年度事業報告

地域に根ざす NPO 法人として、平成 25 年に立ち上げた当法人は、平成 27 年度から第 3 期の磯子区民文化センター（杉田劇場）の指定管理者に共同事業体の一員として参画し、令和 2 年度からの第 4 期の指定管理期間についても、引き続き共同事業体の一員として参画しています。

第 4 期指定管理期間の 4 年度となる令和 5 年度は、コロナによる制限がほぼなくなり、通常の社会状況の中で、これまでの経験を活かし、磯子区における芸術文化の発信や地域活動・文化活動の支援など定款に定める事業を中心に磯子区民文化センター杉田劇場の指定管理業務（運営・事業）にあたりました。

また、第 5 期指定管理の公募が想定される中、チーム杉劇が「磯子区民が杉田劇場に求めるニーズを実現する」ために、現行の 4 者で引き続き、杉田劇場の運営に関わっていくという方向性を確認しました。

杉劇らしい事業

①杉田劇場を中心とした芸術文化の創造および発信事業

- ・コロナ禍で開催できなかった磯子音楽祭の開催復活
- ・コロナ禍で開催できなかった新春いそごふるさと寄席の開催復活
- ・障がいのあるなしにかかわらず、あらゆる人が文化に触れる企画「杉劇にこここ冬まつりライブ」の継続実施（歌とダンスで 2 日間開催、一般財団法人地域創造助成金事業）
- ・杉劇リコーダーズ定期演奏会の実施
- ・杉劇☆歌劇団本公演（ホールでの 2 回公演）

②地域活動、芸術文化活動の支援事業

- ・杉劇地域文化クラブ応援プロジェクトを初めて実施する。
（4 校の小中学校の部活動を支援し、磯子音楽祭で発表）
- ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業を継続実施（5 校の小学校）

③芸術文化資源の収集と活用事業

- ・地域探索をはじめとした磯子文化資源発掘隊の事業が好評を博し、人気事業となっている。
- ・磯子の 9 つの地域で各地域の人たちに地域文化を語ってもらう「シリーズ磯子の地域文化を語る」を洋光台で初開催。今後、各地域で開催予定。

主な課題

①地域の芸術文化拠点とネットワークづくり

- ・体制の問題もあり、杉劇の各担当者（地域コーディネーター）が地域に出ることができていない。
- ・地域支援が杉田地区に偏在しがち。